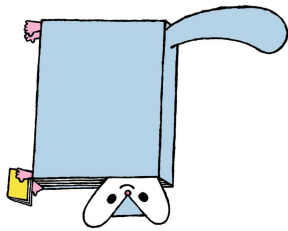


# 「宮沢賢治とジブリ」



2024. 4. 1

美幌町図書館長

宮沢賢治の詩、「生徒諸君に寄せる」は、残された未完成の原稿を賢治の死後に並べかえるなどして形を整えたものです。1946年「朝日評論」4月号で発表されると、高く評価され広く知れわたりました。ただ、賢治の研究者の中には、1つの詩ではなく2つに分けて鑑賞する人もいます。

題名のとおり、賢治から未来ある学生たちへの熱いエールが刻まれています。全文を載せることができませんが、そのなかのほんの一部ですが紹介します。

**諸君はこの颯爽たる  
諸君の未来圏から吹いて来る  
透明な清潔な風を感じないのか**

(この一節は、賢治の母校、盛岡市盛岡第一高校にある詩碑に刻まれています)

**諸君よ  
紺いろの地平線が膨らみ高まるときに  
諸君はその中に没することを欲するか  
じつに諸君はその地平線に於る  
あらゆる形の山嶽でなければならぬ**

(この一節は、岩手県立雫石高校正門にある碑に刻まれているようです)

ジブリ映画、『コクリコ坂から』の挿入歌「紺色のうねりが」は、この「生徒諸君に寄せる」をもとにして宮崎駿さんが作詞しました。

賢治の母校、盛岡一高は現在もバンカラの風習が残された高校として知られています。『コクリコ坂から』に登場する港南学園の男子生徒も、やはりバンカラ風に描かれています。そこが作品の魅力の一つになっていると思います。